

XYZ こんなときはどうするの？

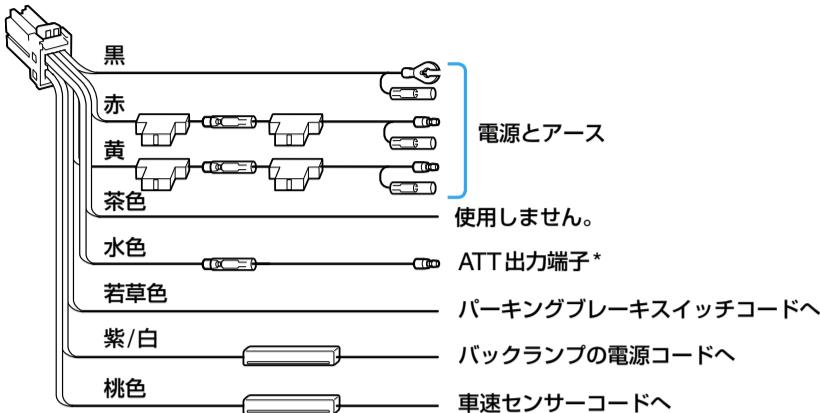
このパンフレットでは、ソニーへのお問い合わせが多い内容をご紹介します。

XYZのホームページのサポートページにも、お問い合わせが多い項目を記載しています。あわせてご覧ください。

URL: <http://www.sony.co.jp/XYZ/>

<取付・接続>

Q. 車に接続する各種コードには、どんなはたらきがあるの？



* ソニー製のナビATT機能付カーステレオに本機を接続する場合に使用します。

若草色のコード

- A. 走行中か、停車中かをサイドブレーキの状態で検知するために、パーキングブレーキスイッチコードに接続します。

安全のために、必ず接続してください

接続していないと…

サイドブレーキが解除された状態=走行中と判断され、安全のために以下のように機能が制限されます：

- テレビやビデオなどの動画が表示されない。
- XYZでは安全のため、サイドブレーキが解除されるとき、テレビやビデオなどの画像は消え、音声のみになります。
- 各種設定や登録などの操作ができない。

桃色のコード

- A. 「自律航法機能」を使用するために、車速センサーコードに接続します。

「自律航法機能」とは、GPS衛星の電波を受信できない場所でも、自車位置を測位して表示する機能です。

自車位置を正しく表示するため、桃色のコードを車速センサーコードに接続している場合は、紫/白のコードもバックランプの電源コードに必ず接続してください。

バックランプの電源コードに接続しないと、バック時に自車位置が前進表示され、すれてしまします。

紫/白のコード

- A1. 車が後ろに進んでいることを検知するために、バックランプの電源コードに接続します。

バックランプの電源コードと車速センサーコードへの接続により、車が後ろに進んだ距離を認識し、正しい自車位置を表示します。

- A2. カメラ入力の自動切替機能を使用するために、バックランプの電源コードに接続します。

カメラ入力の自動切替機能とは、バックカメラ（別売り）などを接続した状態で、バックギアに切り替えると、画面が自動的にバックカメラからの映像に切り替わる機能です。

ご注意

カメラ入力の自動切替機能は、バックランプの電源コードを接続しただけでは使用できません。あらかじめカメラ入力の自動切替の設定をする必要があります。

APPLIボタン→MENUボタン→「システム設定」→「基本設定」→「外部入力設定」→「カメラ入力の自動切替」で、「ON」にします（別冊「本体操作編」の「システム設定」-「カメラ入力の自動切替」参照）。

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

<音声>

Q. カーステレオに接続したのに、カーステレオのスピーカーから音が出ない。

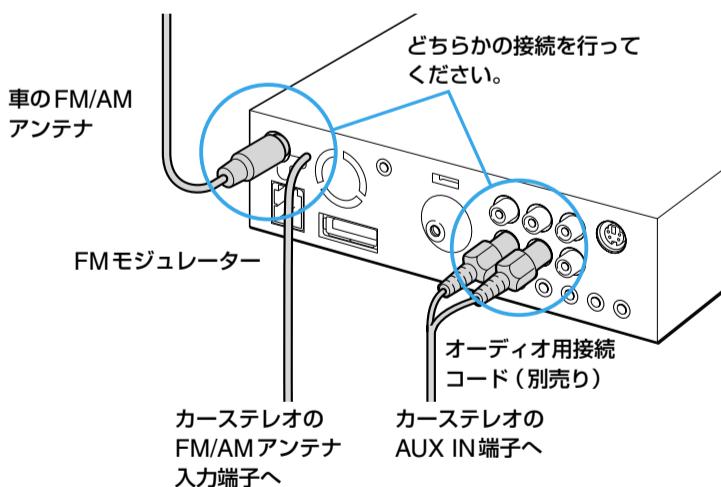
- A1. ナビの音声案内を、カーステレオのスピーカーで聞くことはできません。

カーステレオのスピーカーで聞けるのは、音楽、テレビ、ビデオ、外部機器（AUX入力）の音声です。

- A2. 音楽やテレビなどの音声を聞くには、以下の設定をする必要があります。

1 XYZとカーステレオが、以下のどちらかの方法で、正しく接続されているか確認してください。

お手持ちのカーステレオに外部入力（AUX IN）端子がある場合は、オーディオ用接続コード（別売り）を使って接続します。カーステレオに外部入力（AUX IN）端子がない場合は、FMモジュレーターを使用します。



2 カーステレオから音声を出力する設定をします。

FMモジュレーターを使用する場合：

FMモジュレーターとは、XYZで再生する音楽やテレビなどの音声を、カーステレオのFMチューナーを利用して聞く方式です。APPLIボタン→MENUボタン→「システム設定」→「基本設定」→「FMトランシミッター」で設定画面を表示し、「ON」にしてから、「周波数」を設定します。

3 XYZからの出力レベルを調整します。

カーステレオから出力されるXYZで再生する音楽やテレビなどの音量とカーステレオで再生するCDやラジオなどの音量のバランスが悪い場合は、APPLIボタン→MENUボタン→「システム設定」→「基本設定」→「音設定」→「FM/ライン音声出力レベル調整」で設定画面を表示し、出力レベルを調整してください。

4 XYZのスピーカーから音楽やテレビの音声が出力されないように設定します。お買い上げ時は、音楽やテレビなどの音声はモニターのスピーカーから出力されるように設定されています。

モニターのスピーカーから出力される音声を消したいときは、APPLIボタン→MENUボタン→「システム設定」→「基本設定」→「音設定」→「スピーカー出力（車載時）」で、「OFF」にします。

各設定について詳しくは、「本体操作編」の「システム設定」をご覧ください。

<取付・接続>

Q. 車の電源や各種センサーの位置はどこ？

- A1. インターネットで確認してください。

以下のURLにある「CAR FITTING」で確認できます。

URL: <http://www.mobile.sony.co.jp/>

Mobile Electronics Information

ご注意

- お手持ちのFAXの機能によっては、受信できないことがあります。
- 車両によっては、情報がないことがあります。あらかじめご了承ください。

- A2. FAXで確認してください。

FAX付電話をご利用の場合は、通話料のみのご負担で、ソニーFAXインフォメーションサービスから資料を取り出せます。

ご利用できる資料

車両メーカー、車種・車両形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置など

ご利用方法

- 03-3552-7209へ電話して、車両メーカー別のBOX番号を受信します。
- 03-3552-7488へ電話して、アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

FAX受付時間

毎月第2木曜日 8:00～23:00を除く、毎日24時間受付です。
(第2木曜日が祭日の場合、前日の水曜日 8:00～23:00は資料を取り出すことができません。)

<最新情報の確認>

Q. 地図データやXYZの最新情報はどうやって確認するの？

- A. インターネットで確認してください。

以下のURLで確認できます。

XYZのホームページ

URL: <http://www.sony.co.jp/XYZ/>

Q. カーステレオのスピーカーから出る音楽やテレビなどの音に雑音が入る、または聞こえなくなった。

- A. FMモジュレーターをお使いの場合は、違う周波数に再設定して確認してください。

Q. 音楽やテレビなどの音がカーステレオと本機の両方から出る。

- A. XYZのスピーカーから出力される音声が聞こえないようになると、APPLIボタン→MENUボタン→「システム設定」→「基本設定」→「音設定」→「スピーカー出力（車載時）」で、「OFF」に設定します。

Q. カーステレオに接続したら音が割れる、音が歪む。

- A. 出力レベルの調整をしてください。

APPLIボタン→MENUボタン→「システム設定」→「基本設定」→「音設定」→「FM/ライン音声出力レベル調整」で設定画面を表示し、出力レベルを調整します（別冊「本体操作編」の「システム設定」-「FM/ライン音声出力レベル調整」参照）。

Q. 音楽やテレビを楽しんでいるときは、ナビの音声案内を聞きたくない。

- A. ナビの音声案内を「しない」に設定してください。

APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「案内方法を設定する」→「音声案内」で、「しない」にします（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」-「音声案内」参照）。

Q. ナビの音声案内中にカーステレオから聞こえる音楽やテレビなどの音を小さくしたい。

- A. ソニー製のナビATT機能付カーステレオに接続すると、ナビの音声案内を優先し、音楽やテレビなどの音量を自動的に下げることができます。

電源コードの水色のコードをカーステレオのATT端子に接続してください。音声案内中に音楽やテレビなどの音量が自動的に小さくなる機能がはたらきます。この機能を使いたくないときは、別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」-「音声案内中の外部出力アッテネート」をご覧ください。

Q. カーステレオのスピーカーからナビの音も聞ける？

- A. 聞けません。

カーステレオのスピーカーから聞けるのは、音楽やテレビなどの音のみです。ナビの音声ガイドと操作音は、XYZのスピーカーからのみ聞けます。音声ガイドの音が小さいときは、モニターまたはリモコンのVOLボタンを押して、音量を調整できます。

<ナビ関連>

Q. GPSを受信できない。

A. アンテナの接続・取り付け位置・受信状態を確認してください。

「取付・接続編」の「困ったときは」-「GPSを受信しない」を参照し、確認してください。

Q. 自車位置がずれる。

A1. 本機がしっかりと固定されているか確認してください。

A2. バックランプの電源コードへの接続が行われているか確認してください。

車速センサーコードを接続している場合は、必ずバックランプの電源コードへの接続も行ってください。接続しないと、バック時に自車位置が前進表示され、すれてしまいます。

詳しくは、「取付・接続編」の「XYZ本体を車と接続する」をご覧ください。

A3. 車速センサーコードやGPSアンテナが正しく確実に接続されているか確認してください。

APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「接続情報を確認する」→「システム機器接続情報」で、接続状態を確認します（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」-「接続情報を確認する」参照）。

A4. XYZ本体が傾いていないか確認してください。

水平5度以内に取り付けることをおすすめします。本体の取付け角度は水平30度まで対応していますが、取付け角度が大きい場合には、以下のようにしてください。

APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「車両情報を設定する」→「取り付け角度自動調整の初期値を設定する」で、おおよその取付け角度を設定してください（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」-「取り付け角度自動調整の初期値を設定する」参照）。

A5. GPSアンテナの近くに携帯電話などを置いていないか確認してください。

GPSアンテナは、XYZ本体やビーコンユニット、レーダー探知機、携帯電話から離して設置してください。近づけて設置すると、GPSの受信状態が不安定になることがあります。

A6. GPS衛星を3個以上受信しているか確認してください。

GPSアンテナをGPS衛星からの電波を遮る障害物のない位置に設置してください。APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「GPS受信状況を確認する」→「GPS受信状況」で、GPSの受信状況を確認します（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」-「GPS受信状況を確認する」参照）。

A7. 自律航法の学習が終了したか確認してください。

取り付け直後は学習が完了していないため、誤差が大きくなることがあります（しばらく走行すると正しい測位をします）。

詳しくは、「準備・基本操作編」の「自車位置を正しく表示する」をご覧ください。

A8. XYZ本体を別の車に載せ替えたり、タイヤを交換してないか確認してください。

自律航法の学習値を初期化してから、もう一度、自律航法の学習を行ってください。APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「車両情報を設定する」→「自律航法の学習値を初期化する」で、初期化します。

自律航法の学習について詳しくは、「準備・基本操作編」の「自車位置を正しく表示する」をご覧ください。

<パソコン関連>

Q. 付属のインストールCD-ROMに収録されたソフトウェアをインストールできない。

A1. パソコンのハードディスクの空き容量が300MB以上必要です。

A2. 画面の指示をよく確認してください。

それでもインストールできないときは…

A3. Windows 2000の場合、管理者権限（Administrators）でインストールしてください。

Q. SonicStageが起動しない。

A1. パソコンのハードディスクの空き容量が200MB以上必要です。

A2. SonicStageをアンインストールしてから、もう一度インストールしてください。

Q. SonicStageでどんなことができるの？

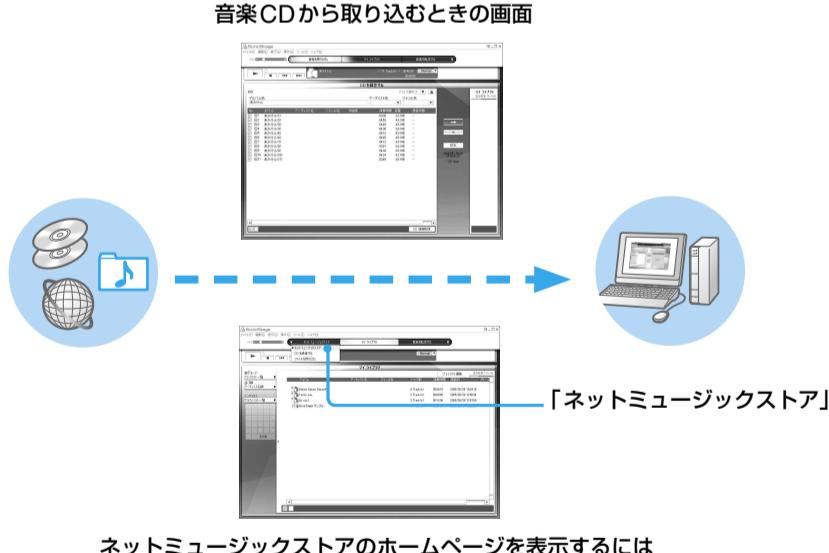
A. 音楽ファイルをXYZに転送できます。

音楽CDから曲（音楽ファイル）をパソコンに取り込んだり、インターネットのネットミュージックストアから曲をパソコンにダウンロードできます。

パソコンに取り込み/ダウンロードした曲を、XYZに転送します。

詳しくは、「パソコン編」の「SonicStage」をご覧ください。

パソコンに曲を取り込む



パソコンからXYZに曲を転送する



Q. SonicStageでパソコンに音楽ファイルを取り込めない。

A1. コピーコントロールCDの場合は、CDに付属の取扱説明書に従って、操作してください。

A2. VBR形式（可変ビットレート）のMP3ファイルか確認してください。

SonicStageでは転送できません。XYZデスクトップを使って、ファイルを転送してください。

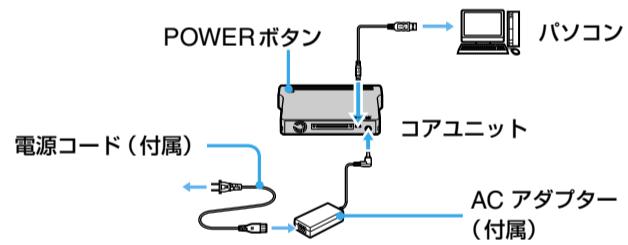
A3. パソコンのハードディスクの空き容量が200MB以上必要です。

A4. 常駐型のCD-R書き込みソフトが起動している場合は、そのソフトウェアを終了してください。

Q. SonicStageでコアユニットに音楽ファイルを転送できない。

A1. コアユニットの電源ランプが点灯しているか確認してください。

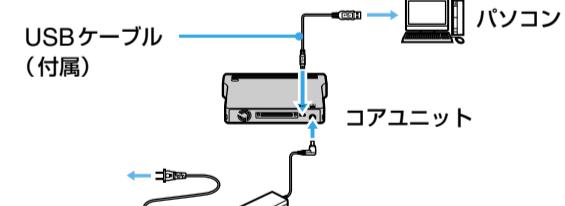
点灯していない場合は、電源コードをACアダプターに接続してから、コアユニットに接続して、POWERボタンを押して電源を入れてください。



A2. USBケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

USBケーブルのプラグを、パソコンとコアユニットのUSB端子に、それぞれ確実に差し込んで接続してください。

A3. USBハブを使っていると、転送できない場合があります。パソコンのUSB端子に直接接続してください。



A4. パワーオンパスワードの設定が「ON」になっていないか確認してください。

コアユニットのSTATUSランプがオレンジ色に点灯している場合は、パワーオンパスワードがONになっています。

パワーオンパスワードがONになっていると、パソコンに接続できません。

コアユニットをカーアンプに取り付けてから、APPLIボタン→MENUボタン→「基本設定」→「パワーオンパスワード」で設定画面を表示し、「OFF」にしてください（別冊「本体操作編」の「システム設定」-「パワーオンパスワード」参照）。

A5. Ver.3.0以前のSonicStageを使っていないか確認してください。

SonicStageのヘルプメニューの「SonicStageのバージョン情報」で確認することができます。

バージョンが異なる場合は、付属のインストールCD-ROMに収録されたSonicStageで上書きインストールしてください。

A6. 常駐型のCD-R書き込みソフトが起動している場合は、そのソフトウェアを終了してください。

A7. 他の音楽再生機器をパソコンに接続していないか確認してください。

ハードディスクウォークマンやNet MD機器などがパソコンに接続されていると、XYZに転送できないことがあります。コアユニット以外の機器をはずしてください。